岩手の畜産

題字は達増知事

令和８年11月号
発行所
一般社団法人 岩手県畜産協会
〒020-0605 滝沢市砂込389番7
☎ 019-694-1300㈹
FAX 019-694-1305
ＵＲＬ：http://iwate.lin.gr.jp
E-Mail：info@iwate.lin.gr.jp
印刷　小松総合印刷㈱



日本短角種の振興に向けて

日本短角種振興協議会　会長　中　平　　均
（岩手県久慈市市長）

畜産春秋

日本短角種（以下「短角牛」という。）は、旧南部藩時代に内陸と沿岸を結ぶ“塩の道”の物資輸送等の役牛として飼養されていた南部牛と、明治4年6月に米国から導入されたショートホーン種等を掛け合わせて改良し、昭和32年に登録された和牛品種の一つです。国内では、岩手県を中心に、青森県、秋田県、北海道に約4,400頭飼育されておりますが、生産量は国内肉用種の１％未満と希少な品種です。

飼養形態は、夏山冬里方式であり、放牧地の雪が解ける夏の期間は、子牛と母牛は広大な放牧地に放牧されてストレスなく過ごし、冬の訪れを前に里に帰り、子牛は肥育農家のもとへ、母牛は牛舎にて分娩に向けて準備を行う、自然の流れに沿った持続可能な生産方式で、近年、環境負荷低減やアニマルウェルフェアの面でも注目を集めています。

また、肉質は、脂肪の少ないヘルシーな赤身肉であることで、健康志向や安全・安心を求める消費者、料理人から認められています。

このように、短角牛は地域の文化や歴史とも密着した品種であり、我々地域の宝でありますが、平成3年の牛肉の自由化を境として、取り巻く経営環境は厳しさを増しており、近年は、生産者の高齢化や後継者不足等を背景に、飼養戸数・頭数ともに減少の一途をたどっております。

日本短角種振興協議会（以下「協議会」という。）は、短角牛の生産振興を図るため、4道県の関係機関、団体等により、昭和61年4月に設立し、生産・流通・消費等に係る研修会の開催や情報共有を図るとともに、必要に応じ国等への施策要望等を行っており、令和2年には、短角牛本来の生産体系を踏まえて無理な市場上場をしなくとも対象となるよう「肉用子牛生産者補給金制度」の運用見直しが行われたところです。

一方、各産地においては、北海道短角牛振興協議会が主催した枝肉共励会の開催、青森市では「八甲田牛」としてブランド化しPRイベント等の開催、鹿角市では「かづの牛」の農林水産省地理的表示（GI）保護制度への登録、久慈市では43回を数える消費者団体と産地の顔の見える交流、地域おこし協力隊の活動による支援などを行っております。

また、久慈市山形町の平庭高原では、東北唯一の闘牛大会を毎年4回開催しており、今年の6月には10年ぶりに全国闘牛サミットを開催し、県内外から多数の来客が来場されて大いに盛り上がったところです。

こうした中で、当協議会の果たすべき役割は、今後、益々重要になってくるものと考えております。今後も、各産地の取り組みが一層加速化されるとともに、4道県の関係機関、団体等の連携を強化し、短角牛の生産振興を図っていきたいと考えております。

もくじ CONTENTS

畜産春秋……1
2026LIAJ和牛講演会 ……2
第70回岩手県畜産共進会種畜の部開催……2
養豚振興会知事あて要請書を提出……3
IBCまつりで県産豚肉をPR ……4
畜産フェア開催……4
令和７年度岩手県獣医畜産業績発表会（岩手県畜産協会長賞）…4
畜産の研究(163) ……6
家畜の保健衛生(168) ……7
畜産技術情報(117) ……8
乳用牛群検定情報(26) ……9
これからの未来のために暮らしのチカラに、地方競馬……10
出版物のご案内……10
令和８年度短角牛市場成績……12
子牛市場及び家畜市場成績……12

【「岩手の畜産」は、バックナンバーも含め協会のホームページでご覧いただけます。】

2026LIAJ和牛講演会

令和8年8月25日、一般社団法人家畜改良事業団盛岡種雄牛センター主催の2026LIAJ和牛講演会が盛岡市内で開催されました。

講演会では、講師の株式会社三重加藤牧場の加藤代表取締役社長から、「牛とともに歩んだ40年～三重加藤牧場と持続可能な畜産経営～」と題して、繁殖・肥育の一貫経営による安定生産、提携農家との飼料交換や発酵おからの濃厚飼料の活用による地域循環、機器等の活用による作業効率化など、加藤牧場の持続可能な畜産経営への取組や、



加藤講師

ゲノム評価を活用した改良の取組について説明がありました。

農協や関係団体の畜産指導者、生産者が多数出席し、妊娠牛を隔離せず4～5頭の群で分娩させる独自の手法などについて、時間いっぱいまで質問が出るなど、参加者にとって実りの多い研修会でした。

第70回 岩手県畜産共進会種畜の部開催

当協会主催の第70回岩手県畜産共進会種畜の部（以下「県共」という。）が、9月2日の黒毛和種の部を皮切りに、9月11日まで畜種毎に開催されました。

今回の県共では前回に引き続き、各開催場所において、消費者に対し、地域畜産の理解を深め地方競馬の畜産振興等への貢献について周知を図ることを目的に、県内畜産物等を配布する地域畜産フェアを実施しました。

開催期間中は、大雨に見舞われた日もありましたが、出品者や観覧者が多く集まり、熱気が大いに感じられた共進会となりました。



各部門の審査の結果、名誉賞は次のとおりです。

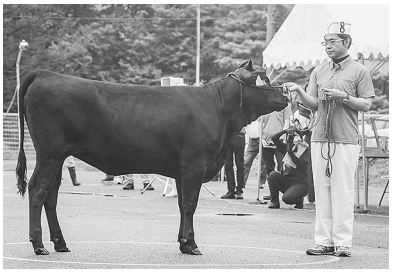
◇黒毛和種の部（9月2日、JA全農いわて中央家畜市場）名誉賞

・若雌（農林水産大臣賞）

区　別	名　号	生年月日	市町村	氏　名
第1区	ふくよ	R7.9.16	奥州市	及川　知幸

・群出品

区　別	名　号	生年月日	市町村	氏　名
第5区	やまゆり	R4.8.22	岩泉町	工藤　ミヱ
	あきなつゆり	R4.3.25	久慈市	栃元　　昇
	ももぐも	R3.9.25	岩泉町	工藤　ミヱ


第１区　名誉賞　ふくよ

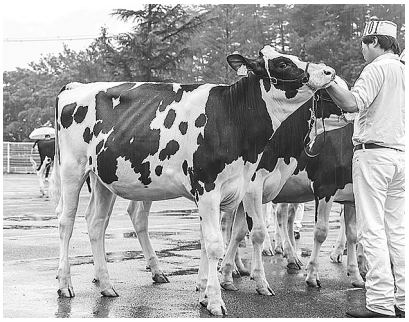
◇ホルスタイン種の部（9月3日、JA全農いわて中央家畜市場）名誉賞

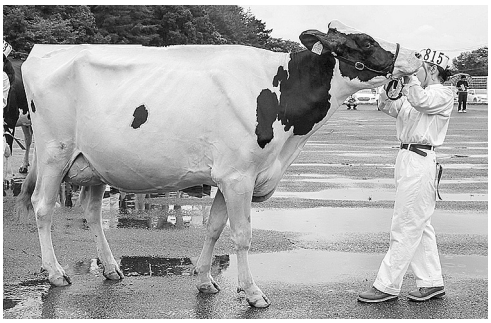
・未経産

部　別	名　号	生年月日	市町村	氏　名
第1部	GRF ｴｽﾃｲﾘｱ ﾘｱﾝｽﾞ ﾊﾟｰﾌｪｸﾄ	R7.8.31	葛巻町	㈱GRFホルスタインズ

・経産（農林水産大臣賞）

部　別	名　号	生年月日	市町村	氏　名
第8部	ｾﾌﾞﾝｽﾍﾌﾞﾝ ﾊﾟｲｵﾆｱ ﾏｯｸｽ ﾗﾑﾀﾞ	R5.1.31	滝沢市	鈴木　稔


第１部 名誉賞 GRF ｴｽﾃｲﾘｱ ﾘｱﾝｽﾞ ﾊﾟｰﾌｪｸﾄ


第８部 名誉賞 ｾﾌﾞﾝｽﾍﾌﾞﾝ ﾊﾟｲｵﾆｱ ﾏｯｸｽ ﾗﾑﾀﾞ

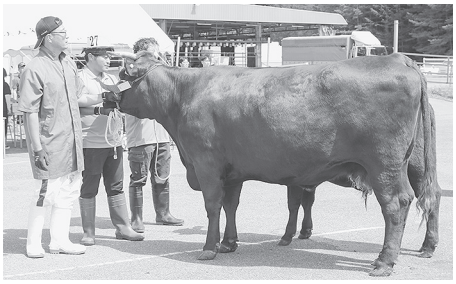
◇日本短角種の部（9月4日、JA全農いわて中央家畜市場）名誉賞

・個体（東北農政局長賞）

区　別	名　号	生年月日	市町村	氏　名
第３部	ひめこと	R2.3.10	岩泉町	佐々木 和時美

・牧野牛群

区　別	名　号	生年月日	市町村	氏　名
第４部	さやか	R3.3.15	岩泉町	佐藤　安美
	さわさくら	R3.3.10	岩泉町	佐藤　勝男
	あずき	R3.2.19	岩泉町	佐藤　安美



第３部　名誉賞　ひめこと



第4部　名誉賞（右から：さやか、さわさくら、あずき）

◇馬の部（9月11日、馬っこパークいわて）名誉賞（東北農政局長賞）

類　別	名　号	生年月日	市町村	氏　名
第３類	ゼンノチカラ	R1.5.10	滝沢市	斎藤　優樹



来場者に県内畜産物等を配布し地方競馬をPR

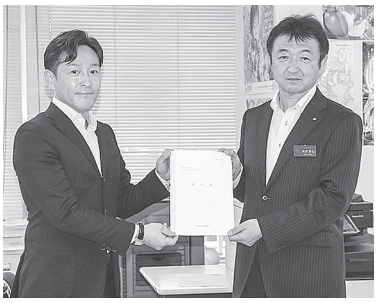


第3類　名誉賞　ゼンノチカラ

養豚振興会 知事あて要請書を提出

岩手県養豚振興会（橋本晋栄会長）は令和8年9月16日、県庁を訪れ、国の「養豚農業の振興に関する基本方針」に基づく施策の着実な推進を求める、知事あての要請書を、照井農林水産部長に提出しました。

今回は飼料・資材等の価格高止まりなどにより、依然として厳しい経営環境にあることから、配合飼料価格安定対策の充実といった「経営安定対策」や「国内由来飼料の安定的供給」、「豚伝染性疾病対策強化」及び「県産豚肉の消費拡大」の実施を要請し、照井部長からは、県が行っている施策についての説明があり、「今後についても関係機関との連携を強化し、必要な対応を国に働き掛けていく。」とのコメントをいただきました。



照井農林水産部長に要請書を手渡す橋本会長

くずまき高原牧場
酪農教育ファーム認証牧場（第0301002号）
牧場体験承っております
アイスクリーム作り体験、牛・羊の世話、
乳搾り体験、羊の毛刈り体験、しいたけ採取体験





乳製品の宅配承っております



かわいい動物たちとふれあえます

《ご予約・お問い合わせ先》
くずまき交流館プラトー
TEL.0195-66-0555
https://kuzumaki.jp

IBCまつりで県産豚肉をPR

岩手県養豚振興会（橋本晋栄会長）では、安全・安心でおいしい県産豚肉の消費拡大に取り組んでいます。その一環として、令和8年9月19・20日（土・日）の2日間、ツガワ未来館アピオで開催されたIBCまつりに、岩手県農協養豚経営者連絡協議会（平谷東英会長）が出展し、来場者に「いわて純情豚」の試食提供を行いました。

純情産地いわて応援団長の天津木村さんと純情娘の皆さんも加わり2日間の試食には、毎回、長蛇の列ができ、いわて純情豚の焼き肉を口にした来場者の皆さんからは、口々に「美味し～い」との声が聞かれました。



天津木村さんから試食を受け取る来場者

畜産フェア開催

令和8年10月4日(日)、盛岡競馬場で地方競馬のPRと畜産に対する理解促進を図ることを目的に、東北6県の畜産団体※による畜産フェアが開催されました。

当日は、開門前から多くの来場者の長蛇の列ができ、用意された引換券1,150枚は1時間ほどで配布が終了しました。引換券を受け取った来場者は、各県の畜産加工品と交換し、その品を手に取って嬉しそうに顔をほころばせている表情が印象的でした。

地方競馬の売上げの一部は、畜産農家の経営改善、後継者の育成、家畜の感染予防等、畜産振興に役立てられています。



※　青森県馬事畜産振興協議会、宮城県地域畜産振興対策協議会、秋田県馬事畜産振興協議会、山形県馬事畜産振興協議会、公益社団法人山形県畜産協会、福島県馬事畜産振興協会、一般社団法人岩手県畜産協会

令和７年度岩手県獣医畜産業績発表会

岩手県畜産協会長賞

TMRセンターの設立・運営支援と利用農家の生産性向上に向けて

二戸農業改良普及センター　依田　龍輔※1、佐々木　貴※2、千葉　弘太郎
二戸農林振興センター　吉田　登、吉田　ちはる
（※1現農業研究センター畜産研究所、※2現流通課）

1　現状と課題

一戸町奥中山地域は県北部の高冷地に位置し、酪農や高原野菜の生産が盛んな中山間地域である。酪農経営は1戸当たり平均飼養頭数89頭、飼料作物作付面積10.5haと比較的大規模であり、県内有数の酪農地帯となっている。

一方で平成27年頃から、経営主の高齢化や家族労働力の減少に加え、飼料収穫機械の更新費用の増加が課題となっていた。特に飼料作物の収穫・調製作業は労働負担が大きく、個々の農家による機械導入や作業継続が難しくなっていた。このままでは経営規模の維持や拡大、さらには後継者への円滑な経営継承にも影響することが懸念されたことから、飼料生産作業の共同化による省力化と生産性向上が求められていた。

2　取組内容

こうした課題の解決に向け、地域の複数酪農家による飼料生産・調製作業の組織化に、関係機関が連携して、設立と安定した運営体制の構築、利

JGAP認証農場
登録番号 L140000002
母豚２，０００頭の一貫経営
・JGAP認証農場　・良質豚ぷん堆肥の供給
・徹底した衛生管理と優良系統豚による斉一性の高い高品質豚肉の生産・供給
「みなみよ～とん株式会社」
岩手町大字川口36-242-3
TEL. 0195-62-9087 FAX. 0195-62-9373
※精肉のご用命は岩手畜流会（食肉専門店）へ

用農家のTMR体系への円滑な移行と生産性向上の支援を開始した（図1）。

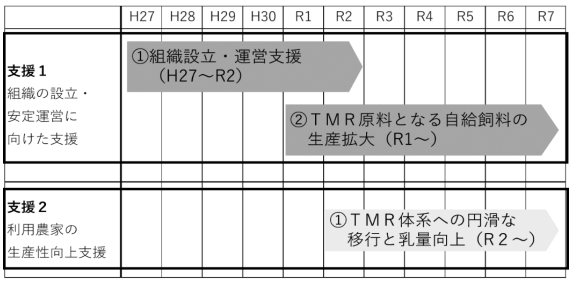


図１　年度別の支援内容

（1）支援１「組織の設立、安定運営に向けた支援」

ア　組織設立・運営支援（H27～R２）

平成27年度から地域の複数の酪農家がTMRセンターの設立に向けた検討を始め、そこへ関係機関が支援を開始した。まず、TMR利用予定農家に現地調査を行い、現在の飼養頭数や自給飼料基盤面積、将来の規模拡大の意向等を把握した。それをもとに、自給飼料の生産体系や飼料設計等を設定し、償還可能な運営計画の検討を支援した。さらに、支援対象組織が独立して意思決定できる体制が確立されるよう、検討会の定期開催等を誘導した。

イ　TMR原料となる自給飼料の生産拡大支援（R１～）

飼料生産面では、飼料用とうもろこしの安定生産に向けて適正品種の選定、土壌分析に基づく施肥改善、草地から飼料用とうもろこしへの転換を進めた。さらに自走式ハーベスタの導入を支援し、適期収穫による収量・品質の向上を図った。

（2）支援２「利用農家の生産性向上支援」（R2～）

利用農家に対しては、TMR給与への移行に伴う飼槽の改修等の牛舎環境改善や自動給餌機の導入を支援したほか、牛の栄養度や乳量、乳成分のモニタリング、乳中脂肪酸組成データ等を活用しながら飼養管理改善を進め、生産性向上に取り組んだ。

３　取組成果

支援の結果、平成30年に「株式会社奥中山デイリーサポート」が設立され、令和２年からTMRの供給を開始した。現在は出資農家４戸、従業員２名体制で運営されており、地域の飼料生産を支える組織として定着している。

飼料生産面では、飼料用とうもろこしの作付面積は42haから105haへ約2.5倍に拡大し、当初目標の総収量を確保できた。

生産性向上の面では、TMRセンター利用農家の個体乳量は令和５年以降、利用前より約10%増加した。

また、経営面では、令和５年からTMRを自家調製から購入に切り替えた農家で、TMR購入費は自家調製経費を上回ったが、生乳売上高が約1.5倍に増加したこと、経費の中で大きな割合を占める飼料費（TMR購入費）が抑えられたことにより、所得はTMRセンター利用前の３倍以上となった（図2、表1）。

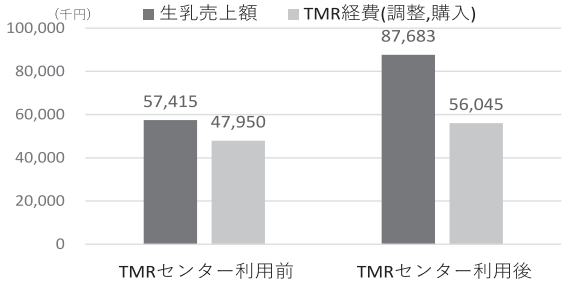


図２　TMRセンター利用前後の生乳売上およびTMR経費比較

表１　TMRセンター利用前後の生乳売上とTMR経費等の比較

	利用前	利用後	比率（後/前）
生乳売上額(a)	57,415	87,683	1.5
TMR経費(b)	47,950 (調製)	56,045 (購入)	1.2
差 (a-b)	9,465	31,638	3.3
所得額	2,771	9,300	3.4

また、TMRセンターを利用することで、利用農家Ａでは、自身で行っていたTMRの調製作業に要した時間が削減され、農家Ｂ、ＣではTMR自動給餌機の導入により、給餌時間が短縮されたことにより、休日の確保が容易になるなど、従事者の労働負担の軽減となった（表2）。

表２　TMRセンター利用前後の労働時間短縮事例（時間/日）

	農家Ａ	農家Ｂ	農家Ｃ
利用状況 （内訳）	自家調製から外部化へ （TMR調製＋給餌）	TMR自動給餌機導入 （給餌）	
利用前(a)	3.5	2.5	4.0
利用後(b)	1.5	1.2	1.0
短縮時間(a-b)	2.0	1.3	3.0

４　今後の取組

奥中山地域では、これまで飼料収穫作業を担ってきたコントラクター組織の撤退が予定されており、地

動物の健康は人の健康につながる
●動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、
あらゆる動物の健康維持に貢献します。
動物用医薬品・畜産用資材・器材・医療機器・医薬品
MPアグロ株式会社
本社:北海道北広島市大曲工業団地6-2-13　盛岡支店:TEL 019(638)3291

域の飼料生産体制の維持が新たな課題となっている。

今後は奥中山デイリーサポートが作業受託面積の拡大を図り、地域内の飼料生産を支える役割をさらに強化する必要がある。そのため、スマート農業技術の活用による作業の効率化や人材確保を進めるとともに、近隣TMRセンターとの連携強化を支援していく。

（執筆：二戸農業改良普及センター　佐々木正俊）

畜　産　の　研　究　(163)

岩手県黒毛和種集団における新細かさ指数及び一価不飽和脂肪酸割合の遺伝的改良の可能性と新細かさ指数が枝肉単価に与える影響

【背景と目的】

近年、牛肉のおいしさや市場価値に関わる牛の新たな改良指標として、脂肪交雑の細かさを示す「新細かさ指数」と一価不飽和脂肪酸（以下「MUFA」という。）割合が注目されています。新細かさ指数が高い牛肉は食味評価や枝肉価格が高く、また、MUFA割合が高い牛肉は脂肪の融点が低くなることで口どけが良くなるとされています。新細かさ指数とMUFA割合の改良は、「いわて牛」の評価の向上につながると考えられますが、本県の黒毛和種集団におけるこれらの遺伝的能力や枝肉6形質（枝肉重量やロース芯面積など）との関係は十分に解明されていません。

そこで本研究では、本県の黒毛和種集団における新細かさ指数、MUFA割合及び枝肉6形質の遺伝率や遺伝相関、表型相関を推定し、新細かさ指数及びMUFA割合の遺伝的改良の可能性と、両指標の改良による枝肉6形質への影響について検討しました。さらに新細かさ指数については、枝肉単価との関係を解析し、その経済的価値について分析しました。

【方法】

新細かさ指数、MUFA割合及び枝肉6形質の遺伝率等については、2019年から2025年までに県内でと畜された黒毛和種肥育牛2,466頭のデータを用い（表1）、と畜年・月、性及び肥育農場を母数効果、と畜月齢を共変量とした多形質アニマルモデルにより推定しました。また、種雄牛の新細かさ指数及びMUFA割合の育種価を推定し、これらの改良に有望な本県の基幹種雄牛を探索しました。

表１　基本統計量

	最小	最大	平均	標準偏差
枝肉重量(kg)	303.0	709.0	498.5	58.6
ロース芯面積(㎠)	34.0	120.0	66.1	11.5
バラ厚(cm)	4.6	11.7	8.2	0.9
皮下脂肪厚(cm)	0.8	6.0	2.5	0.7
歩留基準値	69.5	82.5	75.0	1.7
BMS No.	3	12	8.6	2.4
新細かさ指数	44.8	159.5	92.8	20.0
MUFA割合(%)	42.1	71.2	61.0	4.0
月齢	23.1	36.8	29.2	1.7

n=2,466

新細かさ指数は、枝肉画像をMIJ枝肉画像データベース解析システム（AIによりクラウド上で新細かさ指数を解析）により算出し、MUFA割合は、枝肉切開面の筋間脂肪を食肉脂質測定装置で測定しました。

新細かさ指数の経済的価値の分析は、2022年から2025年までにと畜された1,418頭のデータを対象に新細かさ指数を4区分して、BMS No.、性、と畜年・月を母数効果とした最小二乗分散分析により枝肉単価との関係を調査しました。

【結果】

新細かさ指数及びMUFA割合の遺伝率は、それぞれ0.41及び0.47と中程度であり、どちらも選抜による効率的な改良が可能であることが示されました。また、新細かさ指数及びMUFA割合の間には弱い負の遺伝相関（-0.18）があり、脂肪交雑の細かさを改良する過程でMUFA割合がやや低下する可能性が示唆されました。一方、新細かさ指数と枝肉6形質との遺伝相関では、皮下脂肪厚との間で弱い負の相関（-0.16）が認められましたが、枝肉重量など他の形質とは無相関から強い正の相関（0.06～0.82）が認められたことから、新細かさ指数を高める選抜は、従来の産肉能力を損なわず、枝肉6形質を望ましい方向へ改良できる可能性が示されました（表2）。

種雄牛の推定育種価の比較では、新細かさ指数は、安久勝晃（12.04）、美津貴（11.20）、菊勝久（8.45）の順に高く、また、MUFA割合は、菊安舞鶴（3.05）、菊美翔平（2.41）、美津貴（0.54）の順に高い値を示しました。美津貴については、これら2つの育種価がどちらも高かったことから、脂肪交雑の細かさとMUFA割合を両立して改良できる有望な基幹種雄牛であると考えられました（表3）。

新細かさ指数と枝肉単価との関係については、新細かさ指数115以上の枝肉が95未満の枝肉と比較して75円/kg高く、また95以上115未満の枝肉でも33～52円/kg高い単価で取引されていることが

農畜産物の「安心・安全」を未来につなぐ
小田島商事株式会社
本社　〒025-0311 花巻市卸町66番地　TEL 0198-26-4151
＜動物用医薬品・ワクチン・プレミックス・器具機材＞
花　巻(営) 0198-26-4700　八　戸(営) 0178-34-2284
大船渡(出) 0192-26-4740　プレミックス工場 0198-26-4726
横手・青森・古川・山形・酒田・福島・旭川・札幌・帯広・釧路

示され、新細かさ指数は牛肉のおいしさだけでなく、市場評価にも反映される経済的価値の高い形質であることが明らかとなりました（表4）。

【今後の展開】

新細かさ指数及びMUFA割合は、本県の黒毛和種の改良に有用な形質であることが示されました。今後は、これらのデータを継続的に蓄積し、種雄牛選抜等の改良事業への活用を見据えた牛肉の新たなおいしさの評価指標の開発に取り組んでいきます。

表２　枝肉6形質、新細かさ指数及びMUFA割合の遺伝率、遺伝相関及び表型相関

	枝肉重量	ロース芯面積	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMSNo.	新細かさ指数	MUFA割合
枝肉重量	0.51	0.28	0.63	0.10	0.02	−0.08	0.18	−0.17
ロース芯面積	0.41	0.47	0.20	−0.17	0.90	0.70	0.82	−0.34
バラ厚	0.62	0.36	0.42	0.39	0.10	0.22	0.06	−0.05
皮下脂肪厚	0.21	−0.16	0.26	0.57	−0.49	0.13	−0.16	0.00
歩留基準値	0.12	0.88	0.32	−0.50	0.45	0.64	0.72	−0.30
BMS No.	0.19	0.58	0.29	−0.05	0.54	0.59	0.71	−0.05
新細かさ指数	0.29	0.61	0.22	−0.16	0.55	0.63	**0.41**	−0.18
MUFA割合	−0.05	−0.16	0.01	0.14	−0.18	−0.10	0.10	**0.47**

対角線上が遺伝率、対角線上側が遺伝相関、下側が表型相関

表３　基幹種雄牛における新細かさ指数とMUFA割合の推定育種価

名号	１代祖	新細かさ指数			MUFA割合		
		育種価	標準誤差	正確度	育種価	標準誤差	正確度
安久勝晃	安福久	12.04	3.08	0.90	−2.06	1.02	0.92
美津貴	美津照重	11.20	4.79	0.75	0.54	1.64	0.77
菊勝久	安福久	8.45	2.78	0.92	−0.33	0.92	0.93
晴奈	平茂晴	4.99	6.07	0.54	0.09	2.11	0.56
花金幸	第１花国	3.65	2.94	0.91	−4.01	0.98	0.92
雪乃花	第１花国	3.12	5.76	0.60	−2.02	2.00	0.62
菊安舞鶴	安福１６５の９	2.65	4.17	0.81	3.05	1.41	0.83
菊美翔平	辰美継	2.29	4.54	0.78	2.41	1.53	0.80
菊百合福	菊福秀	0.84	5.75	0.60	−2.09	2.00	0.62

正確度0.5以上、上位9頭

表４　新細かさ指数の枝肉単価との関係

新細かさ指数	頭数	枝肉単価（円/kg）
115以上	341	2,197[a]
115未満～105以上	378	2,174[ab]
105未満～95以上	369	2,155[b]
95未満	330	2,122[c]

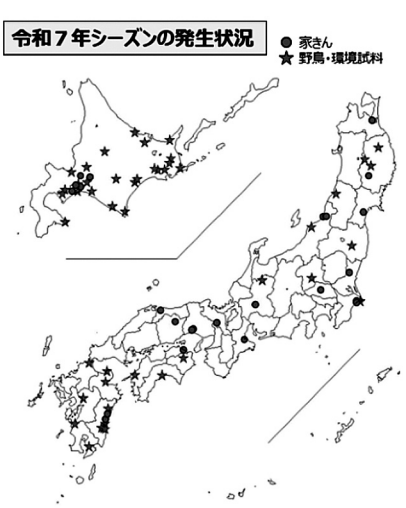
※１　異符号間に5%水準で有意差あり
※２　枝肉単価は相対取引の価格を分析した最小二乗平均値

家畜の保健衛生　(168)

高病原性鳥インフルエンザ対策強化のポイント

令和7年シーズンは、高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の野鳥の感染が全国の広い範囲で確認され、家きんでは10月から翌年4月まで、地域に偏りなく、16道府県で24事例発生し、約576万羽が殺処分の対象となりました。

農場及び家きん舎の周辺環境にウイルスが存在していたことが、農場へのウイルス侵入の主な要因と考えられます。



今シーズンもHPAIの発生が懸念されることから、農場における防疫体制を整備し、来年5月までは警戒を強めてください。特に、11月から翌年1月までは重点対策期間として、次の対策を徹底しましょう。

【農場におけるHPAI発生予防対策】

1　異状の早期発見・早期通報

毎日の健康観察を入念に行い、異状確認時は管轄の家畜保健衛生所へ速やかに届出ください。通報の遅れは、手当金等の減額に繋がります。

2　農場へのウイルス侵入防止対策の強化

飼養衛生管理の基本的な管理項目を毎月点検し、不備があれば改善しましょう。

・人、物、車両の入出時対策
・野生動物の侵入防止、誘引防止　等

3　野鳥・野生動物対策

・農場周辺のため池は、水抜きや忌避テープ等で野鳥の飛来を防止
・農場周辺にカラス等の野鳥誘引施設や生息に適した環境があれば解消
・野鳥等への安易な餌やり等の中止

また、昨シーズンのHPAI発生事例では、過去に発生した農場での再発及び大規模農場での発生が多数確認されました。このような発生傾向を踏まえ、自らの農場のリスクを把握し、以下に取り組み本病の発生及び農場へのウイルス侵入を防止しましょう。

●共進会用 馬・乳牛・肉牛 用頭絡手綱・馬衣・乳牛用新型牛衣・肉牛用牛衣　●牛馬手入用毛ブラシ・根ブラシ・金ぐし
●普通乗鞍・ウエスタン鞍・ポニー用鞍等乗馬具・輓馬具一式・畜犬具
●電気工事用革ケース・カバン・ズック製袋カバン・リュックサックバンド・安全帯
●せんてい鉄ケース他造園工具ケース類　●その他特別御注文のカバン等承って居ります
創業110年品質第一手造りの店
岩手県指定店 塩釜馬具店
盛岡市大沢川原２丁目２の32　ＴＥＬ019-622-5393（労働福祉会館隣）

【発生傾向を踏まえた取組】

1　塵埃対策の実施

ウイルスに汚染された粉塵、羽毛等（塵埃）を介したウイルス伝搬リスクを低減するため、飼養規模が20万羽を超える大規模所有者には、令和8年10月1日から次のような塵埃対策が求められます。

・フィルター・不織布の設置
・細霧装置の設置
・入気口の一部閉鎖　等

2　再発・密集地域における発生リスク低減に向けた取組

HPAIの発生リスクが高い地域は、予め「大臣指定地域」として指定され、地域内の農場では、次のような発生に備えた準備や野鳥誘引防止対策等の取組が求められます。

・家きん舎周辺を消毒するのに十分な量の消毒薬を各農場が備蓄
・地域内で発生した際に各農場が塵埃対策を実施できるよう準備
・農場周辺の野生動物生息状況等の把握
・把握した情報に基づく周辺環境におけるウイルス低減対策の検討及び実施　等

3　分割管理導入の検討

飼養規模が20万羽を超える大規模所有者は、令和7年10月1日から、分割管理の導入について具体的に検討することが求められています。分割管理を導入する場合は、管轄の家畜保健衛生所にご相談ください。分割管理は、施設や飼養管理を分けることで農場を複数単位として管理し、HPAI発生時の殺処分範囲を限定することにつながる取組です。

4　誘導換羽中も警戒を徹底

誘導換羽中も毎日の健康観察を十分に行い、少しでも普段と異なる様子がみられた際は、速やかに管轄の家畜保健衛生所へ連絡してください。また、農場が家きん等の移動や搬出が禁止される区域（制限区域）に入った場合は、制限区域の解除まで誘導換羽の実施を見合わせることも検討してください。

畜産技術情報(117)

分娩間隔短縮のための冬期の管理について

1 卵子は成熟するまでに60日以上を要する

雌牛の卵巣にある卵母細胞が、卵子として排卵されるようになるまでには60日以上を必要とします。牛の発情は21日周期ですが、排卵する卵子は3周期以上前から発育していますので、この間に、暑熱や寒冷および低栄養などのストレスを受けると、受精障害や受精後の早期胚死滅などにもつながります。受胎のため、分娩後の子宮回復と卵子の発育を意識した適正管理に努めましょう。

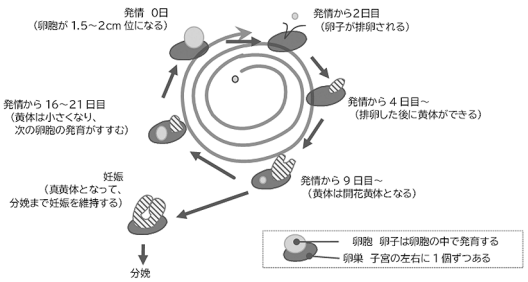


図１　発情周期と卵巣の動き

2 寒冷期は空胎期間が長くなっている

県内で飼養されている黒毛和種繁殖雌牛のうち、モットー君通信簿（(公社)岩手県畜産物価格安定基金協会）利用農家における空胎日数をみると図2のようになります。3～10月は50%以上の牛が産後100日以内に受胎していますが、1～2月、11～12月の寒冷期は100日以内に受胎した牛の割合が50%未満に減少しています。寒冷ストレスや給与飼料の不足が空胎日数の延長に関係しているものと考えられます。

分娩間隔の目標380日（空胎日数約90日）を目指して、寒冷期の飼料給与量を見直しましょう。

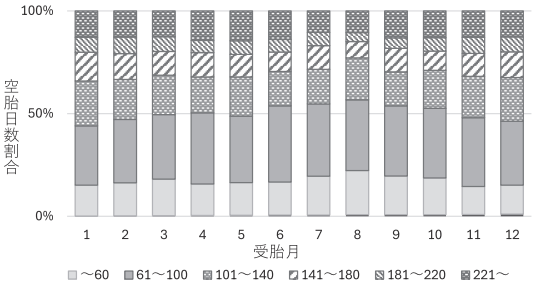


図２　受胎月別の空胎日数割合
（モットー君通信簿Ｒ８年６月配布データより）

３　寒冷期には熱生産のためのエネルギー消費が増える

寒冷期の飼養管理のポイント
- □　寒さ対策のため、気温に応じて飼料給与量を10～30%増やす
- □　温水を給与する
- □　ビタミン、ミネラルを充足させる
- □　温かい時間帯に換気する

牛は、寒さに強い動物ですが、寒冷期には熱生産のためのエネルギー消費が増えるため、飼料給与量を増やす必要があります。気温が0～－5℃になる12月は、適温時（18～25℃：5～9月）より養分要求量が30%多くなります。10～11月には、気温に応じて10～20%の増飼に取り組みます（表1）。

寒冷期でも、栄養が充足すると初回授精の受胎率が向上し、空胎日数の短縮が期待できますので岩手県農業研究センター試験研究成果書（黒毛和種における分娩間隔短縮のための寒冷期飼料給与プログラム※1、黒毛和種妊娠牛の冬期屋外飼養技術※2）も併せてご覧ください。

表１　成雌牛（体重500kg）の養分要求量

気温	ＴＤＮ（g／日）	適温時との割合（%）
18～25℃	3,270	100
0～－5℃	4,251	130
－5～－10℃	4,905	150
－10℃以下	5,559	170

参照　※2 黒毛和種妊娠牛の冬期屋外飼養技術

※１　黒毛和種における分娩間隔短縮のための寒冷期飼料給与プログラムはこちらからご覧いただけます

乳用牛群検定情報 ㉖

一般社団法人家畜改良事業団

～冬季の乳房炎～

冬季の乳房炎について考えてみましょう。体細胞数は夏季に高く、冬季に低いという傾向を示すのが一般的です。しかし、農家によっては、夏季より冬季の体細胞数の方が高いという場合もあります。さて、どういうことなのでしょうか？

１　検定成績表を見てみよう！

すでにご存知と思いますが、体細胞数の増加は乳房炎罹患と密接な関係があり、牛群検定では体細胞数283千個以上を乳房炎罹患の目安としています。体細胞数は抗病性の低下する夏季に高い値を示します。そして、ホルスタイン種は寒さに強いことから、冬季には体細胞数が低下するのが一般的です。図は検定成績表の1枚目の中ほどにある「移動13か月成績」のうち体細胞数を拡大して示したものです。この農家の例では、一般論と異なり、冬季の体細胞数が高いことがわかります。

冬季乳房炎が疑われる検定成績表

移動13ヵ月成績	体細胞情報							
		搾乳牛頭数比率						
検定年月日	体細胞数平均 千/ml	70以下 %	71～282 %	283以上 %	新規 %	頭数 頭	乳量損失率 %	損失乳代(1頭当り) 千円
24.10.26	146 (3.0)	36	51	13	6	5	2	157
24.11.22	181 (3.2)	32	47	21	12	11	2	166
24.12.21	165 (3.1)	35	50	15	9	8	2	154
25.01.24	301 (3.4)	29	47	24	11	9	2	161
25.02.22	426 (3.9)	25	41	34	8	12	2	274
25.03.26	423 (3.4)	25	49	36	5	9	2	216
25.04.24	189 (3.1)	31	53	16	6	6	2	154
25.05.28	176 (3.1)	38	46	16	7	7	2	145
25.06.18	149 (3.0)	40	42	18	7	6	2	122
25.07.24	229 (3.3)	34	43	24	11	9	2	143
25.08.26	217 (3.2)	31	53	16	4	3	2	161
25.09.24	238 (3.2)	36	45	19	8	7	2	172
25.10.23	238 (3.1)	38	46	15	6	6	2	195
平均・計	203 (3.2)	33	49	18	8	7	2	1894
前年成績	211 (3.1)	37	47	16	6	5	2	1677

ポイント

検定成績表の1枚目の牛群成績では過去13か月分の検定成績の推移を見ることで季節変化を読み取ることができます。本例では、冬季、とりわけ2月の体細胞が年を通して最も高いことがわかります。

２　何を改善するか？

このような現象は、最近、普及の著しいフリーバーン等の開放式牛舎に増えています。冬季の搾乳後のディッピングにより乳頭が濡れた状態で牛舎に戻り、開放式牛舎で寒風により乳頭が冷やされ、肌荒れ（霜焼け）をおこして雑菌が増えてしまうことが原因と言われています。こういった場合は、搾乳後のディッピングの際に、清潔なペーパーで軽く薬剤を拭き取るのが効果的です。また、高価にはなりますが、保湿剤入りのディッピング剤も販売されています。



小ロットのオンデマンド印刷から
大量商業印刷まで
各種印刷・ドキュメント処理・アンケート調査支援

CTPシステム
小松総合印刷株式会社
岩手県盛岡市鉈屋町15-4　TEL (019) 624-1374 FAX (019) 623-6719
E-mail:mail@komatsu-gp.com　URL:http://www.komatsu-gp.com

３　体細胞数の季節変化

このように体細胞数の季節変化は一般論とは異なり、各農家それぞれ固有の季節変化を示している場合もありますので、検定成績表によりその原因を追及し改善することが大事です。

(1) ８月時期の体細胞数が高い

暑熱対策が不十分であることを示します。

(2) 梅雨（6、7月）や秋雨（9、10月）時期の体細胞数が高い

牛床が乾燥しないなどの湿気対策が不十分であることを示します。運動や放牧を実施していれば泥濘化や、牛体や乳房の雨水の拭き取りなど乾燥させずに搾乳していないか等も確認して下さい。**特に、今秋は雨が多いので注意してください。**

(3) 飼料の切替時期

硝酸態窒素の多い飼料や豆科飼料では体細胞数が上昇しやすいことが、知られていますので確認してみて下さい。

その他、農家固有のことが原因となっている場合も多々ありますので、体細胞数が増える時期があればその時期になにがあったか、作業日誌などと照合してみて下さい。

これからの未来のために
暮らしのチカラに、地方競馬

地方競馬の目的は、馬の改良増殖その他畜産の振興への寄与と、地方財政への貢献です。

主な内容は次のとおりです。

・主催者収益による地方財政への貢献

主催者収益金は、地域の教育・文化の発展や社会福祉の増進、医療の普及やスポーツの振興、都市計画その他公共施設の整備などに使われ、地域のくらしに役立っています。

・畜産振興への貢献

NARは地方競馬の売り上げの一部を活用して、畜産振興事業に対して補助を行っています。補助の対象は、酪農、肉用牛、中小家畜など家畜の生産対策に関する事業、生産された家畜や畜産物等の流通改善のための事業、家畜の飼養環境改善事業などです。

・地域社会への貢献

売り上げの一部は、地方公共団体の上下水道や病院、交通等を対象とした事業に活用されており、競馬を開催している自治体だけでなく、その他の自治体に対しても様々な形で還元され、広く社会に貢献しています。

地方競馬の売上げの一部は、畜産振興および地方財政の改善に活用されています。

NAR 地方競馬全国協会
https://www.keiba.go.jp/

出版物のご案内

2027年用　畜　産　手　帳
CHIKUSANDIARY 2027



■仕様　高級発泡シート
（ポケット付き）、日記等２色刷、住所録・各種畜産関係統計資料等付録
丈夫さUP！

■本体サイズ
145mm ×85mm

■価格
1,100円（消費税込・送料別）
【送料：1冊270円、2～4冊430円、５冊以上600円】
10～99冊の一括注文の場合880円
100冊以上　〃　770円

■主な掲載内容
○日記欄
○住所録（中央官庁・地方庁・畜産関係団体・会社・道府県畜産協会等）
○各種畜産関係統計資料等
・飼養戸数・頭羽数　・生産・需給関係データ
・家畜繁殖関係・飼養管理関係・家畜改良増殖目標
・飼料関係（畜種別養分要求量、主要飼料養分早見表等）
・営農関係（生産費、労働時間、固定資産評価基準、家畜ふん尿関係データ、施用基準等）
・畜産物の価格（安定価格・販売価格の推移、取引規格等、家計消費統計も充実）
・衛生関係データ・畜産関係融資制度　など
※QRコードから読み取り可能

ご注文は、当協会総務部までご連絡ください。
TEL：019-694-1300　FAX：019-694-1305

株式会社 いわちく
●食肉処理解体、食肉製造・販売、直営店経営　他
〒028-3311　岩手県紫波郡紫波町犬渕字南谷地120番地
TEL：019-676-4600(代)　FAX：019-676-4609
https://www.iwachiku.co.jp



（公社）中央畜産会からのお知らせ
畜産映像情報
がんばる！畜産！10
畜産現場の“今”を30分の番組にしました！
映像を各種研修会、セミナーにご活用ください！
配信中の内容：ヨーロッパアルプ酪農、第16回全日本ホルスタイン共進会、浪江町復興牧場　始動！、阿蘇のあか牛（熊本県）おいしいチーズができるまで　ほか
（公社）中央畜産会　経営支援部（情報）TEL 03-6206-0846
畜産映像情報
がんばる！畜産！10
◀スマートフォンからはこちら
▼パソコンからはこちらで検索
がんばる畜産

令和８年度 短角牛市場成績

全農岩手県本部

市場名	性別	日本短角種			和牛間交雑等(褐毛含む)			合　計		
		頭数	平均価格	平均体重	頭数	平均価格	平均体重	頭数	平均価格	平均体重
10月21日 中央	雌	135	373,959	227	6	451,733	209	141	377,269	226
	雄	1	287,100	295				1	287,100	295
	去勢	145	386,464	254	13	446,092	229	158	391,370	252
	計	281	380,103	241	19	447,874	223	300	384,395	240
10月22日 中央	雌	101	327,049	226				101	327,049	226
	雄									
	去勢	127	328,874	239				127	328,874	239
	計	228	328,065	233				228	328,065	233
秋期市場合　計	雌	236	353,883	226	6	451,733	209	242	356,309	226
	雄	1	287,100	295				1	287,100	295
	去勢	272	359,575	247	13	446,092	229	285	363,521	247
	計	509	356,793	238	19	447,874	223	528	360,071	237

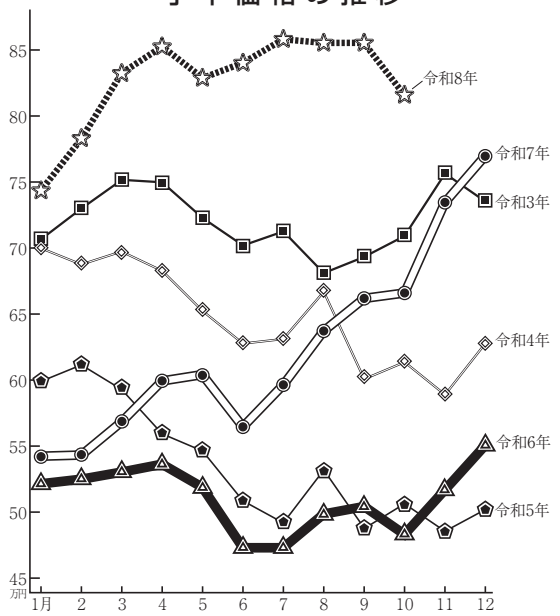
県内黒毛和種子牛市場成績

(全農岩手県本部)

市場区分	性別	令和８年９月			令和８年10月		
		売買頭数	平均価格	平均体重	売買頭数	平均価格	平均体重
県南※ 胆江・気仙 磐井	雌	160	780,203	291	139	794,794	300
	雄						
	去勢	174	924,702	331	195	884,829	328
	計	334	855,481	311	334	847,359	316
中央初日 宮古・北部 奥中山・久慈	雌	93	800,824	288	113	765,483	295
	雄						
	去勢	190	904,455	318	154	859,771	322
	計	283	870,399	308	267	819,867	311
中央２日目 滝沢・雫石 八幡平・玉山 岩手・葛巻	雌	106	801,008	288	155	748,000	285
	雄						
	去勢	155	908,437	319	138	860,033	314
	計	261	864,807	306	293	800,766	299
中央３日目 紫波・盛岡 花巻・北上 遠野	雌	101	775,718	295	102	741,745	292
	雄						
	去勢	103	866,693	320	127	819,197	321
	計	204	821,651	308	229	784,699	308
合　計	雌	460	788,181	290	509	763,406	293
	雄						
	去勢	622	904,858	322	614	859,396	322
	計	1,082	855,254	309	1,123	815,889	309

※県南市場は令和8年４月より１日開催
※価格は円(税込み)、体重はkg

子牛価格の推移



県内家畜市場における指定肉用子牛取引実績

公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会

区　分	令和８年９月		令和８年10月	
	頭 数	平均価格	頭 数	平均価格
黒毛和種	932頭	845,664円	962頭	802,270円
褐毛和種	－	－	4頭	465,850円
日本短角種	－	－	454頭	363,349円
ホルスタイン種(雌を除く)	－	－	1頭	363,000円
交雑種・乳	－	－	－	－

※　指定肉用子牛とは、肉用子牛生産者補給金制度における、平均売買価格算定の対象となる牛（区分ごとに体重の範囲が定められている。）
※　平均価格は消費税込み

『生産者と共に豊かな食生活を未来へつなぐ』

JA全農くみあい飼料株式会社　北日本事業本部　北東北支店　岩手営業所
〒020　0891
岩手県紫波郡矢巾町流通センター南2丁目5番2号
TEL 019-638-7910 FAX 019-638-7920